

身近なまちづくり

推進委員



身近なまちづくり推進制度が発足して、今年で10年の節目を迎えます。推進員は、緑化、健康づくり、安全、美化・清掃の4部会に分かれ、多くの地域住民の参加を得ながら、住みよい快適なまちづくり活動をおこなっています。

今年度の4部会の活動は次ぎのとおりです。

【緑化部会】

○花の植え付け（6月3日・希望丘商店街）

○苗木の無料配布・園芸相談

【健康づくり部会】

○ハイキング

○都内ハイイク（4月5日）

○鎌倉ハイイク（10月20日）

○烏山寺町ハイイク（11月23日）

○下河原ハイイク（来年3月頃）

○健康講座

○青少年問題（7月8日）

○骨粗鬆症（9月29日）

○胃・大腸癌検診（10月中）

【安全部会】

○放置自転車警告

○クリーンキャンペーン

○カープミラー等の点検

【美化・清掃部会】

○ゴミ0デー（5月31日、6月7日）

○クリーンキャンペーン（放置自転車警告）

※各部会は、11月3日の「船橋ふれあいまつり」にそれぞれ参加します。

また「1」にそれぞれ参加します。



出張所長が かわりました

◆出張所長 新井 清



4月1日より赴任いたしました。昨年4月に新設されました上北沢出張所より、何か分家よりの転任で、何か分家より本家への転任のようで、親しみもあり、また緊張もしているところであります。どうぞよろしくお願い申し上げます。伝統のある「船橋出張所」で自分が何ができるか不安であります。少しでも早く街を知り人を知って皆様の中へ入れるよう努力する所存です。

今年も「船橋ふれあいまつり」を初めとして各種団体の行事が数多く予定されております。前任の大島所長に負けぬよう頑張りますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆前船橋出張所長 大島 信之

桜咲く4月。突然ではありませんが、国民年金課に異動いたしました。出張所在任3年間、大変お世話様になり、ありがとうございました。

ご当地の明るい街づくりも、町会長・自治会長さんを先頭に、住民の皆様のご努力により着々と成果があらわれました。放置自転車対策、町内清掃、花の植え付け、そして「船橋ふれあいまつり」などなど。

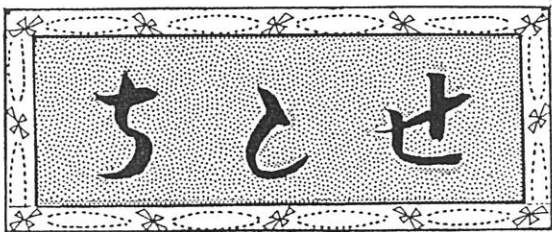
さらにやさしいまちづくりをめざして・・・さつと素晴らしい街になると思っています。「一期一会」これからも一日一日を大切にしていきたいと思えます。

から3百メートル以内で採餌し、冬の間にもっとも良く採餌していた場所から、百メートル以内で翌年繁殖するので、来年も船橋小学校に巣をつくらぬと思われま。

毎月1回学校の屋上で、野鳥委員と自由参加した4年生から6年生迄の児童が双眼鏡を手にパードウオッチングを楽しみます。鳥の生態観察の情報交換の場にもなり、にぎやかです。

このように、野鳥の名前はもとより、鳴き声や生態を知り、季節の移り変わり、自然のすばらしさを身近に感じること、成長過程にある児童の人間形成に役立っていると思えます。

(T・K)



発行：編集委員会
編集者：板橋 昇
責任者：船橋出張所内
事務局：船橋出張所内
☎ (3482)0343
1992.7. NO40

学校だより その2

船橋小学校



校庭の桜や梅、銀杏などの樹木と宝性寺と神明神社の数々の大木に囲まれた中に、船橋小学校があります。区立64小学校の中でも校庭・校地が広く、緑の多い自然に恵まれた学校です。

昭和52年に東京都愛鳥モデル校になって15年が過ぎました。えさ台をつくり、巣箱をかけ、傷ついたり、弱った鳥の世話をしてきました。今では、オナガ・ツバメ・ヒヨドリ・ハクセキレイ・シジュウカラ・カワセミ・ムクドリ等の姿や鳴き声を楽しめます。

今年もスズメが空気孔に、ハトが桜の木と非常階段に巣をつくり、雛をかえました。又、巣箱にシジュウカラの巣も見られました。シジュウカラの若鳥は巢

有料駐輪場開設



放置自転車私有地まで侵入

区立千歳船橋北自転車等駐車場が四月一日より開設されました。月極めは、一・二階屋根有が二千円、二階屋上屋根なしが一八〇〇円。日ぎめは一日一回百円となっています。月極めはいいのようです。

本誌三六号で、駅前放置自転車追放の記事を載せましたが、その後、駅前の道路は、花できれいになりました。こうして、有料駐輪場もできました。しかし、放置自転車が減ったわけではありません。

このごろ、特に苦情が多いのは、他人の屋敷の中まで悠然と放置自転車が侵入しつづつあるということです。家と家の間の道路、庭木のしげみの中、駐車場などあちこちで話を聞きます。

健康のためには、一万歩を毎日歩けといいますが、さて何人の人が歩くように心掛けているか、勝負です。

(N・I)

地域めぐり



御神輿もある 船橋デポ



「世田谷区船橋デポジット」は、船橋七丁目、環八沿いの菱和グラウンド横にあり、建坪約五十坪余り、四階建、六年前に新設され一階は、受付、事務室。格納されているのは選挙管理委員会関係の物資。投票所で用いられるすべての物が収められている。目下、参議院議員選挙（七月二十六日）の準備が整って出番を待っている。

二階は、児童館関係と地域振興課のもの。地域イベントをはじめ、区民まつり用の資材の殆どが収められている。船橋地区のふれあいまつりには大変お世話になっている。みこしも二体あるというからたいしたものである。



けやき色の建物をみつけたらそこがけやき美術館。船橋地区会館の隣にあります。

館長の菅野奈津子さんは絵筆一本で、湾岸戦争直前のイスラエルを旅しました。この国の人々を描いた絵は心打つものがあります。

コーヒーマシンの香りを聞きながら、これらの絵と過ごす一時は、たのしいものです。

絵手紙教室では、季節の静物などをハガキにこめて送る風情を指導しています。

けやき美術館

- ◆場所 船橋三十一一十四
- ◆電話 (三四二七) 一〇〇四
- ◆開館 AM十一時～PM六時
- ◆休館 月曜・火曜

(立石)

四階は、文化課専用のフロアとして、備品がおかれてある。今のところ、グラウンドピアノの置き場となっている。

こうした総合的なデポは、一か所であるが、区役所のそちこちに個々に資材・資料の収納庫がある。

三人の職員（区サービス公社）が、それぞれの出番を待つ貴重な資材を丹念に整備し、いつでも、求めに応じて対応できるように、日夜力をつくしておられる。

(K・M)

有隣のぞみの家

東京都高齢者緊急相談センター『有隣のぞみの家』は船橋二丁目の有隣病院と有隣特養ホームの間にあります。東京都の委託事業で昭和五六年六月に開設され、以後さまざまの悩みごとや話し手を望む高齢の方達の相談を受け、必要な場合宿泊することの出来る施設です。

宿泊は、原則として二週間以内で宿泊は無料ですが、食費は一日三食約二千円です。午前九時から午後五時まで受け付けていますが、緊急の場合は夜間休日をといません。定員は十名で専門の相談員がともに考え、解決の糸口をさぐってくださるところです。

(N・F)

出張所コーナー

新しい顔ぶれです。

赤石 啓二（世田谷保健所）

坂本 久美子（教育センター）

池内 ますみ（新規採用）

よろしく願います。

編集後記

うっとおしい梅雨空。しかし、シャラやアジサイのすがすがしい花が心をなごませる。船橋地域めぐりで、あらためて身近かな町に強い関心をもち今号にその一部を紹介した地域のみなさんの声をお寄せ下さい。

(K・M)

日赤社資募集の結果

皆様の温かいご協力により、今年度は1,752,060円集まりました。

ありがとうございました。

日赤奉仕団船橋出張所分団